

- 8日、リベラル系野党3党と民主党は連立与党結成合意に署名。

A. 主な動き

1. 内政

▼連立与党結成合意

- ・3日、ルプ民主党党首は、共産党は一枚岩ではなく、大統領選挙時には共産党から必要な票を得られる旨発言（共産党以外の政党の合計は53議席で大統領選出に8議席不足）。
- ・7日、フィラト自由民主党党首は、同党が議会議長ポストを得る権利を持つ旨発言。ウレキャン「我々のモルドバ」同盟代表は、右支持を表明。
- ・8日、リベラル系野党及び自由党は連立与党の結成合意に署名。

▼選挙後の動き

- ・3日、共産党は、他党と対話を行う用意があるが、リベラル系政党の連立が成立した場合には「責任ある野党」になる旨の声明を発表。
- ・3日、キリスト教民主人民党（7月の選挙の得票率は1.91%）は憲法裁判所に対し、選挙結果の再集計を要請。在宅投票時の違反や無効票の数が多すぎること等が理由と説明。
- 4日、憲法裁判所は十分な証拠が提出されなかったとして、キリスト教民主人民党の再集計要請を却下。
- ・5日、中央選挙管理委員会は、個人情報が含まれるとして投票者リスト閲覧禁止を決定。4月5日の選挙後には、閲覧は許可されていた。
- ・6日、中央選挙管理委員会は、憲法裁判所に29日の選挙結果を付託。

2. 経済

▼マクロ経済

- ・6日、ドゥルレシュチャス財務大臣は「8月頭時点での歳入は目標を16%（13.8億レイ）下回る72億レイ」と発表。
- ・6日、モルドバ国家統計局は輸出高が前年比16.2%減、前月比7%増の1億770万米ドルに、輸入高が前年比41.4%減、前月比6.9%増の2億5970万米ドルになったと発表。

表。また物価は先月比で0.6%下がり、年初から2.4%の下落。デフレの主因は野菜の価格下落によるものが大きい。

▼ガス関連

- ・4日、モルドバガスは、第3四半期のガス価格が186.85ドル／立法メートルになる旨発表。第1四半期は339.25ドル、第2四半期は255.71ドルだった。
- ・5日、グレチャニ首相は、ガスの消費者供給価格が約10%下げられる旨発表。

3. 外政

▼EU との新協力協定

- ・4日、ミジェイ EU 特別代表は、モルドバが新政権を設立してルーマニアとの関係を正常化し次第、今秋にも協力協定に関する対話を再開することが可能と発言。新協定は最も重要な問題（自由貿易制度、モルドバ人への査証制度緩和、汎ヨーロッパエネルギー安全保障への参加）を反映しなければならず対話は複雑なものとなる、とも発言。対話開始には（4月8日以降導入されている）ルーマニア市民に対する差別的な査証制度の廃止が前提と発言。ミジェイ代表は、また、EU との関係強化や金銭面での援助については、大統領が選出され、新政府が発足した後、モルドバがIMF、世界銀行、欧州委員会との関係をどの程度再構築する用意があるかを明らかにする必要があるとも発言。なお、沿ドニエストルとその関係者の参加を得た沿ドニエストル問題に関する対話を再開する必要があり、これはモルドバ新政府にとっては不可能ではない、とも発言。

4. 防衛

▼演習「ロジスティクス2009」

- ・3日～5日、モルドバ軍は、自然災害発生時の危機的状況下における訓練及び後方部隊の相互運用性の向上を目的とした演習「ロジスティクス2009」を実施。本演習に110人の軍人が参加。

B. その他の動き

8/5（水）

- ・5日から6日にかけて、EUBAM の支援を受け、対組織犯罪研究集会がキシナウにて開催。

8/6（木）

※本週報ではモルドバの首都名「キシニョフ」（ロシア語読み）を暫定的に「キシナウ」（モルドバ語読み）と標記しています。（了）

- ・クズミン露大使はキルトアケ自由党副党首との会談において、露はモルドバ人の選択を尊重すると発言。また、キルトアケ副党首との会談後、新連立政権結成後、モルドバ-露関係をより発展したレベルに出来るとも発言。